

大山 あきひこ ニュース

大阪府議会議員

2021年新春号



発行:大山明彦府政事務所 〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202 TEL072-999-4649 FAX072-999-8739 E-mail: ooyama@komei-fu.com

大阪府議会 定例会 (2020年9月18日～12月21日)



本会議 報告

介護サービス事業所・障がい福祉施設等職員及びその他のエッセンシャルワーカーへの慰労金支給を漏れなく!

介護サービス事業所・障がい福祉施設等職員への慰労金支給について、本事業は国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業として、強い使命感をもって、業務に従事していることに対し慰労金が支給される制度である。この趣旨を活かしていくためには、対象者に漏れなくいきわたることが何より大事。府では、本日が申請締め切りとなっているが、十分に周知するため、締め切りを延長しさらに周知徹底すること。

災害備蓄方針をコロナ禍に対応した内容に早期に改定すること! さらに、常設型の災害ボランティアセンターを設置すること!

消毒液・ダンボールベッド・パーテーション・ブルーシート等々、感染症予防対策物資の常備備蓄をさらに拡充する必要がある。「大規模災害時における救援物資の備蓄方針」を早期に改正すべき。

多発する自然災害への対応で、災害ボランティア活動は被災地の復旧・復興に不可欠。平時の備えがあつてこそ非常時の対応がある。常設型の災害ボランティアセンターを設置すべき。



健康福祉常任委員会 報告 (新型コロナウイルス感染症対策を中心に)

年末年始の救急医療体制及びコロナ診療・検査体制の確保!

通常多くの医療機関が休業する年末年始には、受診すること自体が困難な状況になるのではないかと危惧している。救急医療では患者の搬送先の決定など、救急搬送に時間を要しているという話も聞いている。さらに、今後、インフルエンザ等の患者が増えることが想定される中、新型コロナウイルス感染症対策を進めながらも、府の救急医療体制を確保すること。さらに、コロナ診療・検査医療機関に対し、年末年始にも検査を実施できるよう支援策も講じて対策を実施すること。

新型コロナを疑う場合の受診相談体制が変わりました

しんどいなと思ったら…
まずは、かかりつけ医など
身近な医療機関に電話



どこに電話したらいいかわからない時は
八尾市新型コロナ受診相談センターへ

072-994-0668

(平日 午前8:45～午後5:15)



上記以外は、音声ガイダンスでコールセンターの番号を案内します。

- 発熱、倦怠感などの症状を事前にかかりつけ医など身近な医療機関に電話で伝えてください。
- 案内された医療機関を受診する際は、マスクを着用して、公共交通機関などの利用は、可能な限り避けてください。
- 発熱などのかぜの症状がある場合には、仕事や学校は休んで、不要不急の外出は控えてください。

新型コロナワクチン安全安心の接種体制を確立せよ!

ワクチンの接種無料化を柱とする改正予防接種法が成立し、市町村が接種主体となるが、府の役割である、優先接種となる医療従事者等の調整や、専門的相談体制の確保など、市町村と連携し万全の準備を行うこと。

看護師など医療人材の確保!

医療を支える人材の確保は待った無し。府内外、政府機関、関係機関等と調整など、知事が先頭に立って進めること。あわせて、平時の取り組みがあつてこそ緊急時に生きる。日常より、看護師養成学校等への支援をはじめ、高校や中学さらに小学校での取り組みを進めるべき。

